

地域のお便り



YAMAZAKI
SHINNOBUKE

広げよう!ピア・サポートの輪

学校で行われているピア・サポートという活動を知っていますか?これは、生徒同士で認め合い、励まし合って思いやりのある学校に変えていく活動のこと、近年問題となっている不登校やいじめを解消していく手法として注目されています。特に、浜松では江之島高校の山口先生が先頭に立って、東部中学校や相生小学校、また江西中学校などでピア・サポートの取り組みを進めていますが、体験した児童生徒の様子を見ていると、その有効性がはっきりと感じられます。

いじめの現場には、必ず傍観者が存在します。その傍観者が仲裁者となれば、絶対に命を落とすようなことにはならないですよね!トレーニング次第でこれを可能にするピア・サポート。その輪を今後も大きく広げていきたいと思います。

これからも輝け、東部中!移転統合50周年

先日、私の母校である浜松市立東部中学校の移転統合50周年記念式典が、在校生、保護者、学校関係者はもちろんのこと、多くの来賓がお越しの中、盛大に開催されました。私は1994年に入学し、1997年に卒業。その当時は、阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件が影響し、かなり暗い世相でしたが、情報社会が本格的に始まるなど、激動の時代に東中生として多くのことを学ばせて頂きました。

ちなみに、東部中学校は浜松市内の中学校の中で、学校ナンバーが「1」なんです。伝統と誇りをもって、これからも生徒の皆さんには輝いていってほしいですね!私も卒業生の一人として、しっかりサポートして参ります。



第10号の発行にあたり

2016年新春、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。昨年は、世界ではテロ事件、国内においても安保法案による混乱など暗いニュースがあった反面、日本ラグビーの活躍、ジュビロ磐田のJ1昇格、2020年東京五輪での自転車競技の伊豆開催決定など、県内スポーツ界には嬉しい報道が相次ぎました。ぜひ今年は、他の分野にも良いニュースが続くといいですね!

また、昨年12月1日から私の所属する会派が統合したことにより、会派名が「ふじのくに県民クラブ」に変更となりました。本年も、これまで通り変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

山崎真之輔プロフィール

- ◆34歳三児の父親
- ◆浜松北高等学校、名古屋大学法學部卒業
- ◆元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆静岡県議会議員(2期目)
- ◆所属会派:ふじのくに県民クラブ
- ◆所属委員会:企画くらし環境委員会(副委員長)
地方分権推進特別委員会



しんのすけ活動記録

9月18日～10月15日	県議会9月定例会
10月20日～22日	常任委員会県外視察
10月26日	会派街頭県政報告会
10月28日～11月6日	決算特別委員会
11月6日	第10回マニフェスト大賞授賞式
11月8日～17日	静岡県議団欧州事情調査
11月25日	ピア・サポート研修会
11月27日	地方分権推進特別委員会
11月28日	東部中学校移転統合50周年記念式典
11月28日	ふじのくにカフェ～静岡の若者と語ろう
12月1日～21日	県議会12月定例会
12月4日	議会運営等改善検討委員会
12月6日	相生地区5町合同防災訓練
12月11日	建設ICT現場見学会
12月14日～15日	企画くらし環境委員会
12月16日	地方分権推進特別委員会
12月17日	知事へ来年度予算編成に対する提言

浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ 第10号 通信

平成28年1月発行

本気が違う!!

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

マニフェスト大賞 優秀賞受賞!



去る11月6日、東京六本木で開催された「第10回マニフェスト大賞授賞式」において、わが会派の取り組みが優秀マニフェスト賞(議会部門)を受賞しました。マニフェスト大賞とは、地方政治の首長や議会の良い取り組みを表彰・善政競争し合うことによって、地方から国を変えていくうとするイベントで、私も長く実行委員を務めています。

今回評価されたのは、私たちの会派が選挙前に策定した公約集「覚悟」。6つの条例の実現を提示するとともに、有識者や若者の意見を反映させ、また訴えた政策のPDCAを回すようにしたことがポイントだと思われます。近年多く発生した地方議会の不祥事を吹き飛ばし、これからも優秀マニフェスト賞にふさわしい責任ある行動に努めて参ります!

しんのすけアプリ 好評展開中!



前号でもご紹介した「しんのすけアプリ」は、もうダウンロードして頂けましたでしょうか?数週間の試走期間を経て、現在はブログのスマート化や漫画の追加など、中身(コンテンツ)も徐々に充実してまいりました。今後も、身近な政治の話題やお役立ち情報をタイムリーにお届けしますので、ぜひ、お手持ちのスマホ・携帯のお供にしてみて下さい!

主なコンテンツ

- ・プロフィールや政策、写真集
- ・しんのすけチャンネル
(ブログ・テレビ・ラジオ・機関誌・漫画)
- ・新着☆情報、議会録画中継



アプリは
こちらから

18歳選挙権に伴う投票率向上施策について



いよいよ来夏から選挙権年齢が18歳に引き下げられる。もちろん、一番大事なのは主権者教育であるが、選挙・投票に関する環境改善も同時に用うべき。そこで、マンネリ化した投票率向上策を継続するのではなく、例えばNPOや若者から事業を募集し、新たな発想で新たな取り組みをされてはどうか。



昨年度から中学3年生を対象に実施している「選挙出前授業」を、今年度は高校生にも対象を拡大している。また、ご指摘の通り新たな取り組みも重要なので、初の試みとして、12月19日に県内の大学生など20歳前後の若者に参加を呼びかけ、「明るい選挙・若者ミーティング」を開催することとした。さらに、期日前投票所の大型商業施設等への設置など、市町と連携しながら投票しやすい環境整備に取り組みたい。

いじめ防止策について



名古屋の地下鉄で起きた飛び込み自殺事件では、学校側はいじめを確認できていなかったが、生徒のうち少なくとも20人は目撃したことあると話していた。こういうケースにおいて、傍観者を仲裁者に変えることができれば、絶対に命を落とす結果にはならなかつたはず。いじめを子ども達の手で解消させる。教員は授業に入れる力を入れられる。学力も上がり、ますますクラスの雰囲気も良くなる。このような好循環溢れる学校を作っていくませんか。



子ども達自身でいじめを防止したり解決したりするために、県では平成20年度から「人間関係づくりプログラム」を独自に作成し、本年3月には、改訂したものを県内全ての公立小中学校に配布した。中身としては、義務教育の9か年で対人関係のスキルを系統的に身につけられるようにしている。本年度は、モデル校で活用方法の研究に取り組んだが、今後はこの成果をリーフレットにまとめ、学校現場の理解を広め、県内に広く普及させていく。

真の目～独りよがりにならぬように～



11月28日、浜松市内のカフェをお借りし、第1回「ふじのくにカフェ～静岡の若者と語ろう」を開催しました。これは、私たちが実現を目指している条例制定にあたり、議員だけの考えで進めていくのではなくて、将来を背負う若者世代と一緒に考えてもらおうという趣旨で始めた企画です。

この日は、県内学生を中心に11名の参加を頂き、3グループに分かれ「子どもをいじめから守る条例」と「グローバル人材育成を支援する条例」についての率直な意見を沢山出してもらいました。これらは、一旦私たちがまとめて、また第2回、第3回へとつなげていく予定です。

独りよがりにならず、広く県民、若者の意見を聞く。これからの政治に必ず必要な姿勢だと、私は思います！



一般質問の概要と解説

12月9日、改選後初となる一般質問を行いました。今回は、選挙時に訴えてきた航空機産業の醸成や、若者政策を中心的に質問させて頂きました。ここでは、その内の4点について簡単に解説します。詳しくは、ホームページやしんのすけアプリでご確認ください。



浜松航空教育都市構想について



MRJの初飛行が実現し、日本の航空機産業の巻き返しに期待が高まっている。本県も、航空機部品産業への企業支援を行っているが、先行する愛知県など中部エリアに対抗するには人材育成のアプローチが重要であり、実際に現在、操縦士や整備士が足りていない。そこで、こうした人材養成拠点を浜松地域で作り、長期的な視野で航空機産業の醸成を図っていこうとする「浜松航空教育都市構想」について見解を伺う。



紹介の構想は大変期待できる内容であり、構想実現に向けた国などへの働き掛けには全面的に協力していきたい。県としては、航空宇宙分野を成長産業の一つとして位置付けており、MRO市場への対応、操縦士の育成、大手メーカーとのビジネスマッチングの機会提供などの取り組みを進めることで、本県の航空機産業の発展を図っていく。

不妊治療支援策の充実強化について



政府の1億総活躍社会実現に向けた緊急対策の中に不妊治療の助成拡充が盛り込まれたが、不妊に悩む女性の現実は、金銭的・心身的に非常に厳しいものがある。国の支援策はまだ不明だが、県として、今まさに不妊で悩まれている方への支援をどう施していくのか。また、早い年齢段階からの教育や啓発をどのようにしていくのか。



県では、体外受精などに対する助成制度をはじめ、平成26年度からは県独自の制度として、人工授精や男性不妊治療に対する助成を開始し、不安解消と経済的負担の軽減を図っている。また、専門相談窓口を設置し、当事者の気持ちに寄り添ったきめ細かな相談と支援にも努めている。早い段階からの教育や啓発についても、現在様々な講座を行っているが、今後は対象を拡大していく。